

## NPO エコデザイン推進機構公開講演会 開催のご案内（通算 17 回）

### 「これからの地球温暖化問題を考える」

●日時：平成 24 年 3 月 1 日(木)、14:50～18:00（受付開始 14:30 より）

●場所：東京大学（本郷キャンパス）工学部 1 号館 1 階、15 号講義室

[http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam01\\_04\\_02\\_j.html](http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam01_04_02_j.html)

会場は東大正門を左に向かった大きな木の左前にある建物 15 講義室は、この建物の一番奥になります。少しわかりにくいですが宜しくお願いします。

#### ●開催趣旨

環境問題は、過度の資源集中と過度の消費がもたらしたものであるところに問題解決に向けた難しさがあります。このような状況は、ひたすら経済成長を追い求めた結果でもあります。昨年、南アフリカ連邦共和国のダーバンにて開催された COP17 は、発展途上国、先進国間、また発展地域においても経済問題との両立という課題が、重くのしかかり、対立を深めました。今回の講演会では地球温暖化問題の解決に向けた議論を通じてますます困難になっている経済発展と環境の両立にむけて、議論を深めることを意図しています。講師にお呼びした、NGO 代表、若い人、消費者意識の变革やボランティア活動に心血を注いでおいでの方の実践と主張をお聞きしながら、世代間、地域間で協調出来る仕組みが見えてくることを期待します。

#### ●プログラム

(0) : 14:50～15:00 NPO エコデザイン推進機構からのお知らせ

(1) : 15:00～15:40 講演 1 : 「COP17 : ダーバン合意に至る議論と結果を検証する」

ご講演者：平田 仁子（ひらた きみこ）

NPO 法人 気候ネットワーク 東京事務所所長

##### ◆講演概要：

ダーバン会議（COP17/CMP7）は、国際的な気候変動政治の一つの転換点と言える。世界の排出実態から、これまでの交渉会議の経過を踏まえ、ダーバン会議に至る議論と結果を検証することで、今後の世界と日本の気候変動政策の在り方を考える。国際交渉の最前線で活動してきた NPO スタッフが報告する。

##### ◆平田仁子様プロフィール：

NPO 法人 気候ネットワーク 東京事務所所長

熊本県生まれ。大学卒業後、出版社勤務、米国 NGO での活動を経て 98 年より気候ネットワークに参加。NGO の立場から、地球温暖化に関する国際交渉や国

内政策の研究や情報提供、政策提言などに取り組んでいる。2008年からはMAKE the RULE キャンペーンを立ち上げ、事務局長を務めてきた。

CAN International 理事、動く→動かす運営委員、東京都環境審議会委員。

◆著書

『新版 よくわかる地球温暖化問題』気候ネットワーク編 中央法規出版 2009年  
(共著)、ほか

(2) : 15:40~16:10 講演2 : 「地球温暖化問題を若者はどうとらえるのか」

ー日本の若者からの発信ー

ご講演者：篠原 雄貴 (しのはら ゆうき)

◆講演概要：

地球温暖化問題は、全世界的な問題であると同時に世代間を越えた問題でもあるがために、この問題は地球上のすべての若者の将来に暗い影を落とすものである。このことに危惧を抱き、今多くの若者が温暖化問題に対して意見を発信している。若者は温暖化問題をどのようにとらえ、そしてどのような意見を発信しているのか。このことに関して、COP参加を通じて若者として感じたこと等を交えつつ話していただきます。

◆篠原雄貴様プロフィール：

Climate Youth Japan メンバー:2011年11月には南アフリカで開かれたCOP17参加。早稲田大学創造理工学部環境資源工学科理工学専攻

(3) : 16:10~16:40 講演3 : 「東日本大震災後の意識改革と行動」

ご講演者：崎田 裕子 (さきた ゆうこ)

◆講演概要：

「東日本大震災は、被災された方々はもちろん、多くの市民にとってもライフスタイルや生き方に大きな影響を与えています。その変化を環境・エネルギーに関する多様な調査や事例を基に見据え持続可能な社会の実現に向けて、どのような視点が今重要なのか、考えます。」

◆崎田裕子様プロフィール：

ジャーナリスト・環境省登録の環境カウンセラー。

NPO 法人持続可能な社会をつくる元気ネット理事長

NPO 法人新宿環境活動ネット代表理事

一般社団法人環境ビジネスウィメン代表理事

1974年、立教大学社会部卒業。11年間雑誌編集を務めた後、フリージャーナリストに。生活者の視点で社会を見つめ、近年は環境問題、特に「持続可能な社会・循環型社会づくり」を中心テーマに取り組むと共に、環境学習推進に広く

関わっている。また、東日本大震災後の環境回復に関連する環境省・福島県の委員会や、エネルギーの将来ビジョン策定の資源エネルギー庁の委員会などにかかわっている。

「リオ+20 国内準備委員会」共同議長

◆現在の主な公職

環境省「中央環境審議会」委員、「政策評価委員会」委員

経済産業省（資源エネルギー庁）「総合資源エネルギー調査会」委員

国土交通省「国土審議会」委員

「社会資本整備審議会」臨時委員他、環境分野の委員を多数

(4) : 16:40～17:30 講演4 : 仮題「場所文化の発見と地域の創造を目指して」

ご講演者 : 吉澤保幸 (よしざわ やすゆき)

◆吉澤保幸様プロフィール :

1955 年新潟県生まれ。東京大学法学部卒業後、日本銀行入行。1998 年に退職。

2001 年「ぴあ」入社。2003 年場所文化フォーラムを設立、代表幹事に。

2007 年 NPO 法人ものづくり生命文明機構常務理事。

2008 年場所文化機構創設。

(5) : 17:30～18:00 総合質疑

(6) : 18:30～交流会 (別会場)

●参加費 一般 (1000 円)、学生(無料)

NPO エコデザイン推進機構会員 (無料)

交流会参加費 (実費 : 3000 円程度)

●参加申込 下記を明記し、事務局 [secretariat@ecodenet.com](mailto:secretariat@ecodenet.com) 迄メールでお願いします。

=====

参加申込 (講演会、交流会)

ご氏名 :

ご所属 :

一般、学生、NPO エコデザイン推進機構会員

NPO エコデザイン推進機構参加希望 (あり、なし)

(当日は、平成 24 年度会費 5000 円で特別入会できます (入会金無し))

=====